「ブラックパレード」

概要　男爵の娘が攫われた。マスターは男たちを見た！といい、靴磨きは見ていない！という。

　　　わいろと引き換えに、靴磨きは誰を隠しているのか・・・・。

初期証拠カード「南へと去った男たち」に対して

マスター「車には乗っていなかったが・・・黒い服を着た怪しいやつらは見かけたな。

たしか路地裏だったよ」証拠カード「路地裏を走る男たち」を渡してください。

新聞記者「私は取材で南へいたのですけど・・・事故があったので南の道は通行止めになっていましたよ。

　　　　　怪しい男たちなんて見てはいません」証拠カード「通行止め」を渡してください。

靴磨き「怪しい男たち・・？私は路地裏でずっと商売していたが、そんな奴ら見かけなかったぞ？」

　　　　証拠カード「平穏な路地裏」を渡してください。

他　　「怪しい男たち・・・？うーん。みてないなぁ。」

証拠カード「路地裏を走る男たち」に対して

靴磨き「それは嘘だ！ずっと路地裏にいたんだから間違いねぇ！」何かを隠すようにお願いします。

商人・貴族「マスターが言うなら正しいんじゃないか？彼は信頼できるよ」

新聞記者「うーん。ウチのデスクにも目撃情報が寄せらていますし・・・正しいんじゃないですか？」

学者　　「・・・別にマスターに徳があるわけでもないし、嘘はついていないんじゃないか？」

証拠カード「通行止め」に対して

貴族「・・そうそう。おかげで馬車が足どめくらっちゃって。・・・ああ！そういえば靴磨き君が、

　　　一台の車に話しかけているのを見たな！！」

思い出した！という風に、「話しかける靴磨き」を渡してください。

学者「うん。大変だったみたいだね。馬車も車もあの道しか出口がないもんだから、

　　　そろいもそろって通行止めで足止めを食らったみたいで。」

他　「ええ？そんなことがあったんですか？」（靴磨き以外は知らなかった、という風でお願いします。）

証拠カード「平穏な路地裏」に対して

商人「ずっと路地裏で？まったくアイツうまく儲けたみたいで。路地裏でどうやったんだろうね？」

　　　　証拠カード「羽振りのいい靴磨き」を渡してください。

貴族「あれ？そうなの？おっかしいなぁ、確かに靴磨き君を通りで見たんだけどなぁ・・・」

学者「へぇ・・・？路地裏で？普通靴磨きなんてのは通りでやるもんだと思うけどなぁ・・・」

マスター「なんですって？おっかしいなぁ・・・確かに私はたくさんの男たちを見たのですが・・・」

新聞記者「ごめんなさい・・・私は路地裏にはいなかったもので・・・」

証拠カード「話しかける靴磨き」に対して

靴磨き「・・・え！？い、いや、わたしはずっと路地裏にいましたから。」

ものすごくわかりやすく狼狽えていただけると助かります。

他　　「あれ？・・そうなのか。彼は路地裏にずっといたと主張していたが。」

証拠カード「羽振りの良い靴磨き」に対して

靴磨き「いやいや・・誤解ですって。なんにも後ろ暗いことはありませんって。」

学者「変だねぇ・・・路地裏で靴を磨いたってそんなに稼げはしないだろうに・・・」

新聞記者「おかしいですね。少し前まで靴磨きさんは、その日の食事にも困っている、とか聞いてましたが。」

貴族　「うーん・・・。彼は豊かそうに見えないしなぁ。変だねぇ。」

証拠カード「路地裏を走る男たち」「羽振りの良い靴磨き」「話しかける靴磨き」に対して。

靴磨き　「・・・う。そこまで・・わかってるなら白状しますよ・・・。黒服さんたちに、金と引き替えに、

　　　　　路地裏の抜け道を教えたんですよ・・案内します・・・」

　　　　真相カード「金と引き換えに」を渡してください。

他　　「・・・うーん。車の中から金をもらったのだろうかね？本人に確認するのがいいと思うが。」

「届かなかった贈り物」

概要

　たらいまわし。それだけ。ざまぁｗｗｗ。

初期証拠カード「紅白の箱」に対して

　靴磨き「あ・・あれか？拾ったんだよ。中身は女神像だったんだ・・・え？商人に売っちまったよ。」

　　　　　証拠カード「女神像」をわたしてください。

証拠カード「中身は女神像」に対して

　商人「え？女神像？ああ。アレなら数日前に学者様が買っていきましたよ。なんでも、

　　　　ヴィーナスとかいうのがあの像の名前らしいですね。」

　　　証拠カード「ヴィーナス像」を渡してください。

証拠カード「ヴィーナス像」に対して

　学者「え？ヴィーナス像かい？ああ。それなら、新聞記者にあげてしまったよ。

　　　　もっとも彼は、私の訂正に関わらず、最後まで裸の像としか呼んでなかったが。」

　　　証拠カード「裸体像」を渡してください。

証拠カード「裸体像」に対して。

　新聞記者「ああ、裸の像？あったねぇ。正式名称はなんだったかなぁ？でもね、酒場のマスター

　　　　　　にみつかっちまって、借金の方にとられちゃったんだ。悪いね。」

　　　証拠カード「ツケのカタ」を渡してください。

証拠カード「ツケのカタ」に対して

　マスター「ああ。あったねぇ。いや、貴族様との賭けに使って、すぐ手放すことになっちゃったから、

　　　　　どんなもんだったかは覚えてないんだけどね。貴族様が持ってるはずだよ」

　　　証拠カード「ギャンブルのベット」を渡してください。

証拠カード「ギャンブルのベット」に対して

貴族「ウッソ・・・！あれだったのか！！いやあ、スマンスマンまさか手元に戻って来るとは！！

　　　いやー本当にご苦労だったな！！アッハッハ」

真相カード「数奇な運命」を渡してください。

注意-Caution-

このシナリオではNPCはそれぞれ像を違うものとして認識しています。

　（学者はビーナス像、マスターは賭けの品、新聞記者は裸の像）

　そのため、もし察しのいいPLが「ないかな？」と聞いてきたとしても、

　なるべく却下をしてください。（「うーん・・ビーナス像？・・・知らないなぁ」という風に。）

　核心を突いた質問で、カードを見せられなかった場合（ビーナスって言っても通じない、とPLが気付いている）は証拠カードを渡しても構いません。

　何が言いたいか、というと、柔軟な対応をお願いします。

「伝説の薬剤師」

概要

　伝説の薬剤師は、学者と思いきや実は靴磨き。星のあざを頼りに探すことになるの。

初期証拠カード　「伝説の薬剤師」

学者「あいにく・・私ではないよ。医学も多少なら心得はあるが、そこまでの腕ではないし」

記者「伝説の薬剤師ですか・・・。たしか、特徴的な星形のあざがあるという噂が。」

　　　証拠カード「星の形をしたアザ」を渡してください。

靴磨き「私のような・・しがない靴磨きが、伝説の靴磨きなわけがないでしょう・・？」

他　「うーん。たしか伝説の無免許薬剤師、って噂だね。詳しいことは・・学者先生とか

　　　記者さんに聞いてみればいいんじゃないかな？」

「星の形をしたアザ」に対して

学者「ああ、そういえば昔靴磨きにアザを消す方法はないか、と聞かれたことがあるな・・・

　　　生憎と私にはそこまでの知識はなかったが。」証拠カード「アザを消す方法」を渡してください。

商人「うん・・？ああ、前に路地裏で酔って死にそうなときにね、誰かが薬を飲ませてくれたら、凄く

　　　楽になってね。その人にそんなあざがあったような・・・顔は覚えていないが・・」

　　　証拠カード「路地裏の治療者」を渡してください。

靴磨き「・・アザですか？そりゃあ私にもアザくらいありますが・・？私ではありませんよ・・」

他　　「星形のあざ・・ねぇ？ああ、そういえば商人が一時期話題にあげてたっけ？」

「アザを消す方法」に対して

靴磨き「ええ。たしかにアザを消す方法を聴いたことがありますが・・・目立つうえに不気味なモノで。」

新聞記者「そういえば・・靴磨きのあざの形はかわっていたなぁ・・歪な星の形みたいな・・？」

他「アザですか・・・？あんま詳しい人はいないんじゃないですか？」

「路地裏の治療者」に対して

靴磨き「たしかに、私は路地裏に住んでますが・・・。まさか、そんな大それたものではございませんよ」

新聞記者「直接関係あるかはわかりませんけど・・。靴磨きさんって、意外と博識で、

　　　　　路地裏の浮浪者さんには健康面とかお世話になっている人はおおいみたいですよ？」

他　「うーん・・路地裏は縁がないからなぁ・・・新聞記者さんとか詳しくないですかね？」

「路地裏の治療者」「アザを消す方法」「星の形をしたアザ」に対して

　　靴磨き「やれやれ・・・そこまで調べはついているんですか。昔の話ですよ。

　　　　　今はもうただ静かに暮らしたいだけで・・面倒事はこりごりですのに・・・

　　　　　まぁ、一度だけならよいでしょう・・」真相カード「伝説の薬剤師」を渡してください。

　　他「・・・うーん。靴磨きさんに直接聞いてみたらいかがでしょうか？」